

投資信託の世界

杉田 浩治 [著]

四六判・368頁・定価(本体2,000円+税)〈送料別・実費〉

投資信託が個人の資産形成手段としての 役割を果たすために！！

半世紀以上にわたり投資信託と向き合ってきた著者が150年の歴史から現在の制度・商品・販売・運用・税制まで、その奥深さを解説

投資家、投資信託の販売担当者、メディア関係者、学生、研究者など、投信に関心をもつすべての方に贈る決定版

推薦のことば

「本書は、投資信託協会の主任研究員であった杉田浩治氏が、これまでの調査研究の成果を集大成し、わかりやすく解説したもので、投資信託に携わる方の座右の書として、また投資信託を学ぶ方のテキストとして最適な書である。多くの方々に利用いただきたい」

一般社団法人 投資信託協会 副会長専務理事 杉江 潤

著者略歴

杉田 浩治 (すぎた こうじ)

日本証券経済研究所特任リサーチ・フェロー。早稲田大学ビジネス・ファイナンス研究センター「ファンドマネジメント講座」講師、投資信託協会「資産運用業に係る海外動向等の調査部会」委員を兼務。日本証券アナリスト協会検定会員。野村證券投資信託委託(現・野村アセットマネジメント)企画部長・NY駐在員事務所長などを経て、2006年より日本証券経済研究所に勤務。2014年7月～2018年3月投資信託協会主任研究員。

著書に『投資信託の法務と実務』(共著、金融財政事情研究会、2002年)、『プロフェッショナル投資信託実務』(共著、経済法令研究会、2000～2018年)、『投資信託の制度・実態の国際比較』(単著、日本証券経済研究所、2018年)などがある。その他論文・レポート多数(一部は日本証券経済研究所ウェブサイト「出版物・研究成果等→トピックス」欄に掲載)。

● 主要目次 ●

第1章 投資信託とは何か

1 共同投資により、分散投資と専門家運用を実現する(投資信託の仕組み) / 2 投資を代行する、企業価値の向上に貢献する(投資信託の社会的役割) / 3 専門会社が役割分担(運営方法) / 4 規模の効果を得られる一方、コストがかかる(メリットとデメリット) / 5 元利保証はない(銀行預金との違い) / 6 お任せ運用である(直接証券投資との違い) / 7 資金借入れなし、換金自由(ヘッジファンドとの違い)

第2章 リスクとリターン

1 リスクの語源は「勇気をもって試みる」(リスクとは何か) / 2 「安全・有利」はない(金融商品のリスクとリターン) / 3 信用リスク・価格変動リスクなど(金融商品のリスクの種類) / 4 インカムとキャピタルゲイン(金融商品のリターンを分解する) / 5 株式は長期になれば安定(金融商品のリターンの実績——預金と株式の比較) / 6 投資対象により異なる投資信託のリスクとリターン / 7 リターンを高める複利の力

第3章 投資信託の歴史(世界と日本)

1 19世紀にイギリスで誕生 / 2 大資金をもたない投資家の悩みを解決(投資信託はなぜ生まれたか) / 3 アメリカで大発展(世界の投資信託はどのように発展してきたか) / 4 多様化とグローバル化(日本の投資信託の歴史)

第4章 投資家保護はどのように行われるか(日本と世界)

1 金商法・投信法で規制(投資信託の投資家保護の枠組み) / 2 投資家への忠実義務が中心(制度の運営に関する法制) / 3 適合性原則

が中心(販売に関する法制と関連事項) / 4 「発注後に算出される価格」で買付・換金(投資信託の買付・換金ルール) / 5 分散の徹底・レバレッジ排除など(資産運用に関する法制)

第5章 商品

1 公募・契約型・証券投資信託が中心(日本の投資信託の種類) / 2 資産・地域で分類(投資対象別にみた商品分類) / 3 契約型と会社型など(世界の投資信託の分類) / 4 1本当り規模が小さい日本(ファンド数などの国際比較) / 5 品揃えが整った日本(外国と日本の商品バラエティの比較) / 6 ETF、ターゲット・デート・ファンド、ESG投資(世界の注目商品)

第6章 販売

1 投資信託はだれがどのような目的で買っているか(販売対象マーケット) / 2 投資家は買付けた投資信託を何年間保有しているか(平均保有期間) / 3 安値買い・高値売りしている投資家(ファンドリターンと投資家リターンの関係) / 4 だれがどのような方法で販売しているか(販売経路)

第7章 資産運用

1 資産運用はどのように行われるか(運用のプロセスと運用会社の組織) / 2 ファンドマネジャー制と委員会制などの違い(ファンドの運用方式) / 3 投資スタイルなどの活用(アクティブ運用の手法) / 4 主軸は穏健なアクティブ運用(アクティブ運用とパッシブ運用の歴史の変遷) / 5 パフォーマンスの良否、市場への影響(アクティブとパッシブの是非をめぐる議論) / 6 アメリカでも海外投資増加(投資のグローバル化の状況) / 7 上場企業の価値向上を促す(スチュワードシップ・コード) /

8 中立の立場からファンド評価(パフォーマンス評価機関) / 9 日本で新規参加が増加(世界の投資信託運用業界の現況)

第8章 分配と税制

1 評価益も分配可能(日本の分配の制度) / 2 日本は自由度が高い(分配制度の国際比較) / 3 アメリカの投資家は分配を嫌っている(分配の実態の国際比較) / 4 投資家にフレンドリーな日本の税制(投資信託税制の国際比較) / 5 投資優遇が充実している日本(貯蓄・投資優遇税制の国際比較)

第9章 ディスクロージャー(情報開示)

1 目論見書と運用報告書が中心(投資信託の情報開示の流れ) / 2 「交付」と「請求」の2種類(目論見書の種類と記載内容) / 3 半年~1年ごとに作成(運用報告書の種類・作成時期と記載内容) / 4 毎月、運用状況を開示(投資信託会社による適時開示) / 5 個別企業・個別案件ごとに開示(組入株式の議決権行使) / 6 投資家ごと、ファンドごとに開示(販売会社のトータルリターン通知制度) / 7 リスクの表示方法が異なる(情報開示制度の海外との比較)

第10章 これからの投資信託

1 世界の投信残高は5000兆円・新興国の成長大(世界と日本の投信の現況) / 2 投資家リターン向上・受託者責任の遂行など(世界と日本に共通の課題) / 3 販売改善・企業価値向上への貢献など(日本独自の課題) / 4 確定拠出年金制度の活用(退職に備える「資産形成」と投資信託) / 5 長寿化で重要性増す(退職後の「資産を取り崩しながらの運用」と投資信託)

販売 株式会社 きんざい

オンライン図書販売 <https://store.kinzai.jp/public/top/book/>

〒160-8520 東京都新宿区南元町19 カスタマー・サービス・センター ☎03(3358)2891(直通) FAX03(3358)0037

大阪支社 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-8-4(住友ビル第4号館) ☎06(6222)5291 FAX06(6222)5047
名古屋支社 〒460-0003 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) ☎052(211)1661 FAX052(203)9515
福岡支社 〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-2(福岡証券ビル) ☎092(761)1511 FAX092(715)5165

書籍申込書

FAX 03(3358)0037

申込日 年 月 日

FAX送信・郵送前にもう一度注文内容のご確認をお願いいたします。
落丁・乱丁本を除きキャンセル・返品には応じられません。

投資信託の世界

▲ 13429 ▲

冊

定価(本体2,000円+税)
<送料別・実費>

金融機関コード <	部店コード <	※コードは金融機関のみご記入下さい	
法人名	部店名		
フリガナ		(自宅)	※どちらかを○で囲んで下さい
送付先住所(〒 -)		(勤務先)	
フリガナ	※法人申込の場合は担当者名をご記入下さい	TEL	- -
氏名		FAX	- -

●コンピュータ処理をしますので、住所、氏名には必ずフリガナをお願いいたします。

・本申込書により取得しました個人情報については次の目的で利用いたします。
当該書籍の受付・発送・管理および関連する当社および提携団体の事業・サービス等の情報提供ならびに市場調査、当社の事業・サービスの開発
・本申込書により取得しました個人情報については、個人情報保護法に定める場合を除いて、ご本人様の同意なく、利用目的外の利用および第三者提供はいたしません。